

郵便はがき



〒四二六〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
Tel 〇五四六四一〇二九
Fax 〇五四六四四六二二六

お施餓鬼会

左記のようにお施餓鬼会を営みます。
各家先祖代々、初盆霊位供養、そしてすべて
のものに感謝する総供養法要です。お忙しい
中ですが、ご参列お焼香下さい。

記

●日時 8月8日(土曜日)

午後1時 法話

午後2時 施餓鬼法要

付施餓鬼塔婆供養

●塔婆申込べ切は8月7日です。

・付施餓鬼塔婆代は1本2千円。

・初盆塔婆代は3千円。

(申し込み例)

○○家先祖代々之霊 ○○信士之霊 等

電話、FAX、Eメールで受付けます。

Eメールアドレスは「ohba@emmyozan.org」

■8月盆経の時間を7月初旬にご案内

8月盆経(初盆経含む)日時を御施餓
鬼案内に同封致しますのでご確認下さい。

別世帯の子供、お孫様等にも法話羹をお届け致します。申込は寺まで。

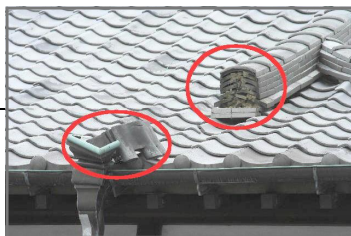
心配が現実

客殿屋根の瓦が落ちたのは6月14日の日曜日。玄関に向って左側降り棟の先端の鬼瓦が落下した。前日の土曜日から雨は降っていたが、ごく普通の雨で、瓦が落ちるような雨ではない。鬼瓦を支える銅線が切れて落下したように、幸いにも途中の樋の枅に引っかかって止まっていた（写真参照）。普通なら鬼瓦はそのまま転げ落ち、瓦を壊しつつ地面に落ちたはずだ。

実は、10年程前から、この屋根瓦は危ないですよと、瓦粋の社長（本堂屋根を修理してもらった会社）から言われていた。

実際、数年前には客殿横の入り口（本堂側）の軒唐破風の棟瓦がズレて補修。さらにその後、事務所雨漏りの補修。徐々に限界に近づいてきている。霧囲気は感じていた。その中での落下である。

前回の屋根替えは、昭和50年頃で、40年を経過している。一般住宅でも、そろそろ



屋根替えをしないとイケない時期でもある。

この客殿は、皆さんご存じのように、建物全体が「相良城主、田沼意次公の御

殿の一部を移築したもので、二百年以上経過している。安政の大地震も乗り越えてきた建物でもある。しかし、時と共に老朽化は進み、今回の結果となったと受け止めている。

折も折、寺では平成33年の日蓮聖人御降誕八百年（日蓮聖人がお生まれになって八百年の年）に向けて慶讃事業を役員会で検討中で、その中で客殿屋根替え・耐震化・空調設備が検討されている。その最中での鬼瓦の落下は、やはりなんとかしなければとの思いも募る。今後役員会で更に検討を加えていくが、進捗具合をその都度ご報告し、皆さんのご意見を頂く中で進めていきたい。ご理解とご協力を切にお願いする次第である。